

青年委員会だより

平成27年5月1日（第174号）

青森県建築士会青森支部青年委員会

新年度が始まり、1ヶ月が過ぎました。今年も桜の季節到来！！

青年委員会では全員協議会で役員改選を行い、私、松野が青年委員長として新たなスタートを切ることになりました。青年委員会での経験が少ないこともあり、まだまだ至らない点もあるかと思いますが、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

青年委員会全員協議会

懇親会



出席者は11名でした。



ビストロ橙にて。

東北ブロック青年大会



1番目で発表開始！！



この後姿、洞内さん？！



夜の街角でガッカリする稲見さん…

青年委員会全員協議会

4月3日、強風が吹き荒れる中、青年委員会全員協議会を開催しました。今年度は、役員改選の年ということで、天候と共に嵐の予感が…。しかし、会議が始まってみれば、役員改選自体はすんなり終了…。嵐の予感が的中したのは、役員改選前の活動報告と収支報告、さらには今年度の活動計画についてと、役員改選以外の全項目。約1名会議には久々登場の、それは、それは真面目な委員の方からのご指摘により、30分程度で終わる予定としていた報告事項が1時間を超えてしまいました。出席頂いた委員のみなさん。チェック不足で申し訳ありませんでした。

すんなり終わった役員改選はと言うと、グダグダな流れから、指を差されつつ、立候補により『委員長松野』が誕生することになりました。新役員は、青年委員長松野、副委員長は片山さん、川畑さん、洞内さんの3名、会計は秋田さんの1名に決定しました。新役員の皆さん、委員長松野と共に頑張りましょう！！

会議後は安方にある『ビストロ橙』で懇親会を行いました。前委員長である稲見さんのセレクトによる懇親会場で、初めて利用するお店でしたが、出てきた料理はどれも美味しく、お酒の種類も豊富でした。

グルメ師匠！！さすがです！！

新規会員の方との交流も図れ、楽しい懇親会になりました。しかしながら委員長松野、まだまだいいかげんと言う意味の“テキトー”などところがあるので、ふさわしい、程よいと言う意味の“適当”になれるよう頑張ってくださいと思います。参加して下さった皆さん、ありがとうございました。これから、よろしくお願い致します。

(※裏面へつづく)

東北ブロック青年大会

4月11日、岩手県の一関市にて、第5回東北ブロック青年大会が開催されました。出席したのは、県青年委員長で北五支部の白戸さん、青森支部の稲見さん、松野の3名で全国大会の切符をかけ大会に臨みました。当日はあいにくの雨でしたが、移動中稲見さんの仕事の電話が大変だった程度で、建築談義に花が咲いたせいか、思ったより早い感覚で到着出来ました。しかしこの時、移動中の電話により稲見さんの身に異変が起きていたのです…。

昼食を済ませ、いざ決戦の会場へ！！会場入りすると、発表者が稲見さんと言うことで、委員長松野が青森県代表で審査員に選ばれます。初めての東北ブロック大会参加にして、いきなり審査員とは…。与えられた仕事をこなすべく、資料に目を通してうちに、発表が始まります。青森県は東北の先端にあるということもあり、発表の順番が1番目と言うハンデを与えられます。ハンデにも負けず、青森大会で指摘されたことをキッチリ修正して来た自信を胸に、発表に臨む稲見さん…。実はこの時、先ほどの仕事の電話によるストレスなのか、胃痛とも戦っていました！しかし、そんなそぶりも見せず、全く嘔むことなく発表する稲見さん！！まさかの操作ミスに、予想に反する笑いにと、プチアクシデントがあったものの、無事に発表を終えます！その間、委員長松野は一生懸命採点資料に目を通していたわけですが、採点項目を見る限り、『建築体験ウォッチ』の評価はかなり高くなります。自分の所をこれだけ高評価して良いものかと悩みましたが、そこは初めての審査員！！採点基準に則っているのだと割り切って採点しました。青森の次は、秋田、岩手、山形、宮城、福島と発表が続きます。それぞれで良い点があったわけですが、中でも青森のライバルになると思った発表が、山形県でした。山形では、お菓子の家づくりを通して子供たちに家づくりの楽しさを伝えるといった活動で、一見どこでもやっついそうで、間違えると建築士ではなくお菓子職人になりそうなものでしたが、そこは建築士会の活動！お菓子作りの工程を、実際の家づくりの工程と同じく構成されていました。何より、発表者のトーク術が素晴らしく、聞き手の笑いが絶えない発表となりました。しかし、委員長松野の採点では、『建築体験ウォッチ』には届かない結果となります…。

全ての発表が終わり、いよいよ採点へ…。選考委員は、各県青年委員長6名、連合会出向委員1名、各県推薦選考委員6名の、合計13名により行われます。委員長松野、緊張の中で選考開始！選考方法は、各選考委員の意見をもとに、各自2票ずつ投票し、東北ブロック代表を決めるというものでした。結果は、青森県1位、山形県2位、以下…となります！！ヤッター！！と思いきや、青森県と山形県の得票差は、わずか1票。そこで、青森県と山形県の決選投票に突入します！この流れで行けば、全国の切符は目前！！と思っておりましたが、ここで他県の選考委員からの一言により、場の空気が一変します。その内容は、山形県の活動は各県に持ち帰りすぐにも活動できるもので、内容も面白いと言うこと。そして、青森県の活動は、採点項目すべてを高評価することができる活動であるが、継続性、活動の成果と言う点で少し弱い面があり、今後の活動で集客数を含めもっと大きな活動になりえるポテンシャルを秘めていることから、もう1年熟成してみてもと言うこと…。この一声で、青森支持派の選考委員が山形へ流れます。委員長松野、極度の緊張感と場の空気から、山形へ投票してしまいました…。

結果は…。まさかの逆転負けで、山形県が全国大会に進むことになってしまいました…。この後の懇親会では、沢山の応援、励ましのお言葉を頂いたものの、結果が出なかったことは変わらず…。懇親会後に、青森勢のみで反省会を行いました。発表を乗り切った稲見さん、悔しさのあまり一関駅前夜の街角でガッカリしてしまいました。この悔しさをバネに、委員長松野！！稲見さんの雪辱を果たすべく、今後の活動に力を入れて行きたいと感じる大会となりました。

青年委員会4月定例会

4月24日、平成26年度改正「建築基準法・同施行令等」の解説講習会が行われたため、講習会終了後に春祭りの打合せを兼ねて、急遽青年委員会4月定例会を開催することにしました。しかし、講習会の出席者が多いだろうという委員長松野の思惑が外れ、青年委員の出席者が少なく、会議できる状況ではなくなったため、定例会は行わず個々に連絡を取り合うことにしました。次回は、ちゃんと考えます…。申し訳ありません。

今月は、毎年恒例の合浦公園春祭りに参加します。参加可能な方は、5月5日9時までに合浦公園に集合して下さい。今回は、いつものペーパークラフト、モザイクタイルアート、さらにストロータワーを計画しています。新委員長として初めての活動ですので、青年委員の方々に協力頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

青年委員会5月定例会 5月5日(火)第2火曜日 8:30～

FAX017-723-7105 mail info@aaba.gr.jp のいずれかでご連絡ください。

合浦公園(出席・欠席) どちらかに○をつけて返信ください

氏名

TEL